

安全データシート

飼料添加物

ペプチドマンガン

飼料品質改善協議会

プレミックス研究会

作成年月日:2023年12月13日

1. 化学品名及び会社情報

| | |
|----------|-------------------------------------|
| 化学品の名称 | ペプチドマンガン |
| 供給者の会社名称 | MFフィード株式会社 |
| 住所及び電話番号 | 北海道苫小牧市真砂町38番地5 TEL:0144-56-2102 |
| 用途 | 飼料または飼料添加物 |
| 使用上の注意 | なし |

2. 危険有害性の要約

本品に関して特定の有害性は知られていないが、皮膚、眼、口に不必要的接触を起こさぬように防止処置を講じなければならない。あらゆる微粉末製品と同様に、吸入を防ぐための処置を講じなければならない。

化学品のGHS分類

| | | |
|----------|-----------|----------|
| 物理化学的危険性 | 爆発物 | 区分に該当しない |
| | 可燃性ガス | 区分に該当しない |
| | エアゾール | 区分に該当しない |
| | 酸化性ガス | 区分に該当しない |
| | 高压ガス | 区分に該当しない |
| | 引火性液体 | 区分に該当しない |
| | 可燃性固体 | 区分に該当しない |
| | 自己反応性化学品 | 区分に該当しない |
| | 自然発火性液体 | 区分に該当しない |
| | 自然発火性固体 | 区分に該当しない |
| | 自己発熱性化学品 | 区分に該当しない |
| | 水反応可燃性化学品 | 区分に該当しない |
| | 酸化性液体 | 区分に該当しない |
| | 酸化性固体 | 区分に該当しない |

| | | |
|-----------|-----------------------|----------|
| 健康有害性 | 有機過酸化物 | 区分に該当しない |
| | 金属腐食性化学品 | 区分に該当しない |
| | 鈍性化爆発物 | 区分に該当しない |
| | 急性毒性（経口） | 区分に該当しない |
| | 急性毒性（経皮） | 区分に該当しない |
| | 急性毒性（吸入） | 区分に該当しない |
| | 皮膚腐食性／刺激性 | 区分に該当しない |
| | 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 | 区分に該当しない |
| | 呼吸器感作性 | 区分に該当しない |
| | 皮膚感作性 | 区分に該当しない |
| | 生殖細胞変異原性 | 区分に該当しない |
| | 発がん性 | 区分に該当しない |
| | 生殖毒性 | 区分に該当しない |
| | 生殖毒性・授乳に対する又は授乳を介した影響 | 区分に該当しない |
| 環境に対する有害性 | 特定標的臓器毒性（単回ばく露） | 区分に該当しない |
| | 特定標的臓器毒性（反復ばく露） | 区分に該当しない |
| | 誤えん有害性 | 区分に該当しない |
| | 水生環境有害性 短期（急性） | 区分に該当しない |
| | 水生環境有害性 長期（慢性） | 区分に該当しない |
| | オゾン層への有害性 | 区分に該当しない |

GHS ラベル要素

| | |
|----------------|------|
| 絵表示または シンボル | 該当なし |
| 注意喚起語 | 該当なし |
| 危険有害性情報 | 該当なし |
| 注意書き | 該当なし |

3. 組成及び成分情報

| | |
|-----------------|----------|
| 化学物質・混合物の区 別 | 化学物質 |
| 化学名又は一般名 | ペプチドマンガン |
| 慣用名又は別名 | ペプチドマンガン |
| 化学物質を特定できる | 該当なし |
| 一般的な番号 | |

成分及び濃度又は濃度 Mn : 10.0~13.0%

範囲

官報公示整理番号 該当なし

4. 応急措置

| | |
|-----------------------|--|
| 吸入した場合 | 暴露のない所に移動し、保温して安静にさせる。状態がひどい時には医師の手当てを受ける。 |
| 皮膚に付着した場合 | 皮膚を水でよく洗う。状態がひどい時には医師の手当てを受ける。汚染した衣服は脱がせ、洗濯してから使用する。 |
| 眼に入った場合 | 水で少なくとも10分間十分に洗う。不快症状が続く時は医師の手当てを受ける。 |
| 飲み込んだ場合 | 水でよくうがいをする。医師の手当てを受ける。 |
| 急性症状及び遅発性症状の最も重要な微候症状 | 情報なし。 |

5. 火災時の措置

| | |
|----------------------|----------------------|
| 適切な消火剤 | 水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素 |
| 使ってはならない消火剤 | 情報なし。 |
| 特有の消火方法 | 情報なし。 |
| 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措 | 情報なし。 |
| 置 | |

6. 漏出時の措置

| | |
|-----------------------|---------------------|
| 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 | 適当な保護衣を着る。 |
| 環境に対する注意事項 | 情報なし。 |
| 封じ込め及び浄化の方法及び機材 | 漏出物を掃き取り、こぼれた場所を洗う。 |

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

| | |
|---------------------|---------------------------------|
| 技術的対策 | 取り扱う時はマスク、ゴーグル、ゴム手袋などの保護具を使用する。 |
| | 取り扱い後は汚染した衣服を着替え、手や顔を洗い、うがいをする。 |
| 安全取扱注意事項 | 喘息などの重篤な呼吸器疾患のある人は取り扱わないようにする。 |
| 保管 | |
| 安全な保管条件 | 乾燥した冷暗所で、小児の手の届かないところに保管する。 |
| 安全な容器包装材料 | 情報なし。 |
| 8. ばく露防止及び保護措置 | |
| 管理濃度 | 情報なし。 |
| 許容濃度（ばく露限界値、生物学的指標） | 情報なし。 |
| 設備対策 | 情報なし。 |
| 保護具 | |
| 呼吸用保護具 | N95 基準適合の微粒子用マスクまたは同等品。 |
| 手の保護具 | ゴム手袋またはビニール手袋 |
| 眼、顔面の保護具 | 安全眼鏡またはゴーグル |
| 皮膚及び身体の保護具 | 情報なし。 |
| 特別な注意事項 | 粉じんを吸い込まないようにし、取り扱い後はよくうがいをする。 |

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|-------------------|-----------|
| 物理状態 | 粉末 |
| 色 | 淡黄色～褐色 |
| 臭い | 特有な臭いを有する |
| 融点／凝固点 | データなし |
| 沸点又は初留点及び沸点範囲 | データなし |
| 可燃性 | データなし |
| 爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 | データなし |
| 引火点 | データなし |

| | |
|-------------|-------------------|
| 自然発火点 | データなし |
| 分解温度 | データなし |
| pH | 4.5~6.5 (蒸留水中 1%) |
| 動粘性率 | データなし |
| 溶解度 | 水にほとんど溶けない。 |
| n-オクタノール／水分 | データなし |
| 配係数 (log 値) | |
| 蒸気圧 | データなし |
| 密度及び／又は相対密度 | 0.55~0.70g/mL |
| 相対ガス密度 | データなし |
| 粒子特性 | データなし |
| その他のデータ | データなし |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|---|
| 反応性 | データなし |
| 化学的安定性 | データなし |
| 危険有害反応可能性 | データなし |
| 避けるべき条件 | データなし |
| 混触危険物質 | アセトン、ベンゼン、アルコールのような有機溶媒。 pH10 以上のアルカリ性溶液 |
| 危険有害な分解生成物 | データなし |

11. 有害性情報

| | |
|----------------------|-------|
| 急性毒性 | |
| 経口 | データなし |
| 経皮 | データなし |
| 吸入 | データなし |
| (蒸気・粉じん・ ミスト) | |
| 皮膚腐食性／刺激性 | データなし |
| 眼に対する重篤な損傷 性／眼刺激性 | データなし |
| 呼吸器感作性又は皮膚 感作性 | データなし |
| 生殖細胞変異原性 | データなし |

| | |
|----------------------|-------|
| 発がん性 | データなし |
| 生殖毒性 | データなし |
| 特定標的臓器毒性 (単回 ばく露) | データなし |
| 特定標的臓器毒性 (反復 ばく露) | データなし |
| 誤えん有害性 | データなし |

12. 環境影響情報

| | |
|-----------|-------|
| 生態毒性 | データなし |
| 残留性・分解性 | データなし |
| 生態蓄積性 | データなし |
| 土壤中の移動性 | データなし |
| オゾン層への有害性 | データなし |

13. 廃棄上の注意

化学品(残余廃棄物), 当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で, かつ, 環境上望ましい廃棄, 又はリサイクルに関する情報

化学残滓は特別管理廃棄物に分類されており、適用される法規は地域によって異なるので、当該地域の廃棄物処理当局に連絡して助言を求めるか、あるいは化学廃棄物処理業者に引き渡す。使用済みの包装容器などについても同様の配慮をする。

14. 輸送上の注意

| | |
|---------------------|-----|
| 国連番号 | 非該当 |
| 輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策 | 非該当 |
| 国内規制がある場合の規制情報 | 非該当 |

15. 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

| | |
|----------------------|-------------------------------|
| 化学物質管理促進法 (PRTR法) | 第一種指定化学物質 311号 マンガン及びその化合物 |
| 労働安全衛生法 | 第57条名称などを表示するべき対象物質 (表示対象物) |
| 毒物及び劇物取締法 | 非該当 |

飼料安全法

飼料添加物 (ペプチドマンガン)

16. その他の情報

この安全データシートは、いくつかの安全データシートの情報を参考にして、飼料品質改善協議会 プレミックス研究会が作成したものです。すべての資料や文献を調査したわけではないため、情報に漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定などにご利用される場合は、別途、資料や文献を調査し検討されるか、試験によって確かめることをお勧めします。なお、含有量、物理化学的性質などの数値は保証値ではありません。また、注意事項は、通常の取り扱いを想定しており、特殊な取り扱いの場合には、別途注意が必要になることをご配慮ください。

<引用文献>

なし

<改訂履歴>

| 版 | 日付 | 内容 |
|-----|-------------|------------------|
| 初版 | 2001年5月18日 | — |
| 第2版 | 2016年2月19日 | GHS対応 |
| 第3版 | 2021年12月20日 | JIS改正に合わせて改訂 |
| 第4版 | 2023年12月13日 | 労働安全衛生法改正に合わせて改訂 |